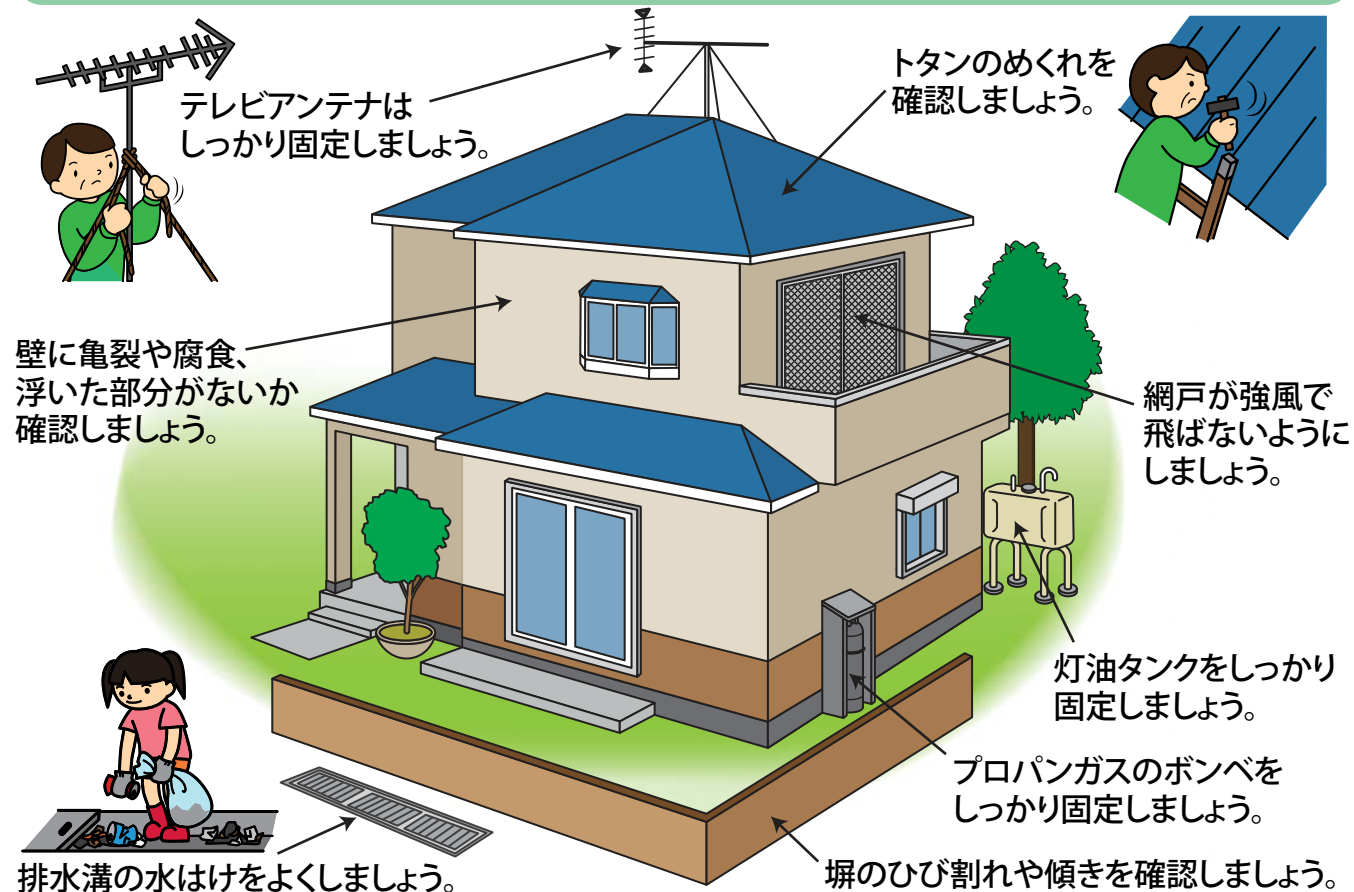


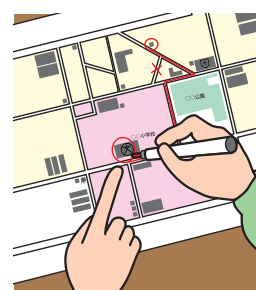
風水害のとき

風水害に備えよう

家の点検・整備をしましょう



避難場所や避難経路を確認しましょう



ハザードマップを日頃から見ておきましょう。
【参照ページ】P20～33

防災グッズを点検しましょう



非常持出品、非常備蓄品を定期的に確認しましょう。
【参照ページ】P15～17

危険が近づいてきたら…

● 気象情報を確認しましょう。



● 強風のときは窓ガラスにガムテープを貼りましょう。



● 外出は控えましょう。



● 植木などは室内に入れましょう。



● 大雨のときは貴重品を2階に置きましょう。



風水害のとき

竜巻注意情報が発令されたら…

竜巻注意情報が発令されたときや、竜巻のきざしを発見したら身を守る行動をとりましょう。

竜巻のきざし

- 低く黒い雲が接近する。
- 雷鳴や雷光が見える。
- 急に冷たい風が吹く。
- 黒い雲の底が垂れ下がっている。



身を守る方法

● 屋外にいるとき

- ・ 頑丈な構造物の物陰に入って身を小さくしましょう。
- ・ シャッターを閉めましょう。
- ・ 頑丈な建物の中に避難しましょう。

● 屋内にいるとき

- ・ 1階の窓のない部屋に移動しましょう。
- ・ 丈夫な机の下に入りましょう。
- ・ 窓やカーテンを閉めましょう。



雨の強さと降り方

1時間雨量	10～20mm	20～30mm	30～50mm	50～80mm	80mm以上
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
降り方のイメージ	 ザーザーと降る雨	 どしゃ降りの雨	 バケツをひっくり返したような雨	 滝のように降る雨	 息苦しくなるような圧迫感がある雨
浸水害・洪水害の発生状況	この程度の雨でも長く続くと注意が必要	側溝や下水、小さな川があふれる	下水管から雨水があふれる	マンホールから水が噴出する	大規模な災害の発生するおそれ強く、嚴重な警戒が必要
土砂災害の発生状況		小規模のがけ崩れが始まる	がけ崩れ、地すべりが起きやすい	土石流が起こりやすい	

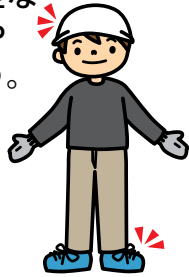
風水害のとき

避難の注意点

浸水の中の避難は、とても危険です！！

動きやすく安全な格好で！

避難するときは、動きやすく安全な服装にしましょう。ヘルメットや防災ずきんで頭を保護しましょう。靴はひもでしめられる底の厚い運動靴を。長靴は浸水が深いと中に水がたまるので動きにくくなります。素足は厳禁です！



歩ける深さに注意！

歩行可能な水深は、ひざの高さくらい(約 50cm)です。水の流が速ければ、20cm 程度でも要注意です！無理をせず、高所で救助を待ちましょう。



足元に注意する！

水面下にはマンホールや側溝などの危険があるので、長い棒を杖代わりに突き、確認しながら進みましょう。



集団での避難を！

単独行動をせず、集団で避難しましょう。



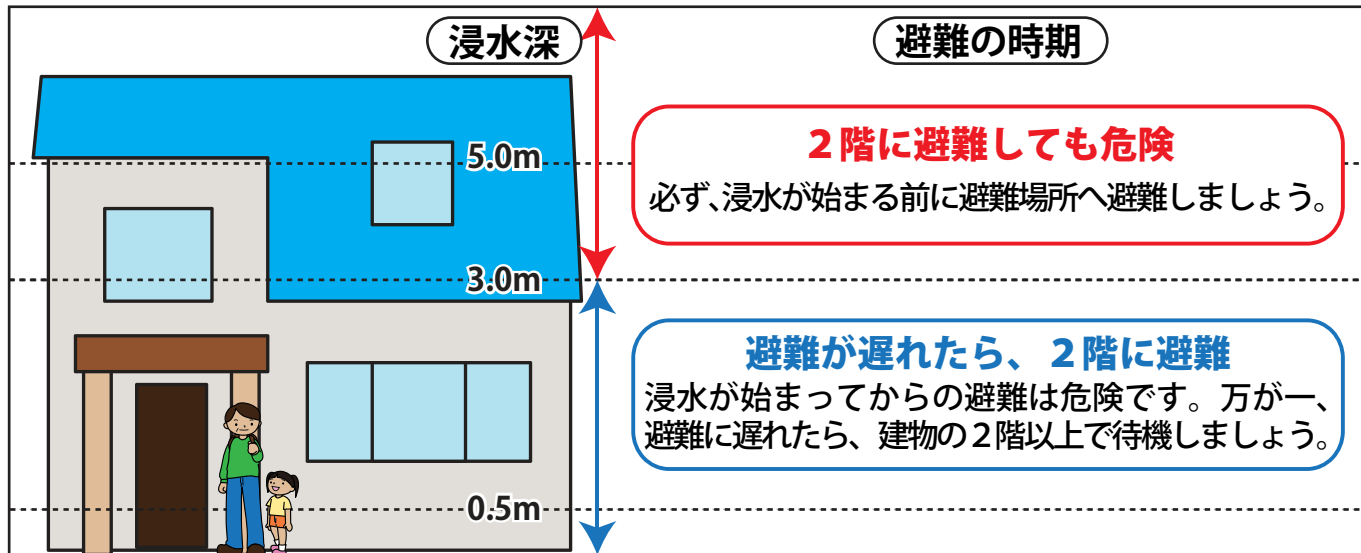
車での避難は控えて

車での避難は緊急車両の通行の妨げになるほか、交通渋滞を招きます。また、浸水した場合、水圧でドアが開かなくなる危険もあります。



適切な避難の時期を確認しよう

洪水の正しい避難行動は、「**浸水が始まる前に避難する**」ですが、万が一の事態に備え、ハザードマップより自宅の浸水深を確認し、下のイラストや右ページの「避難行動チェックリスト」から避難を判断しましょう。



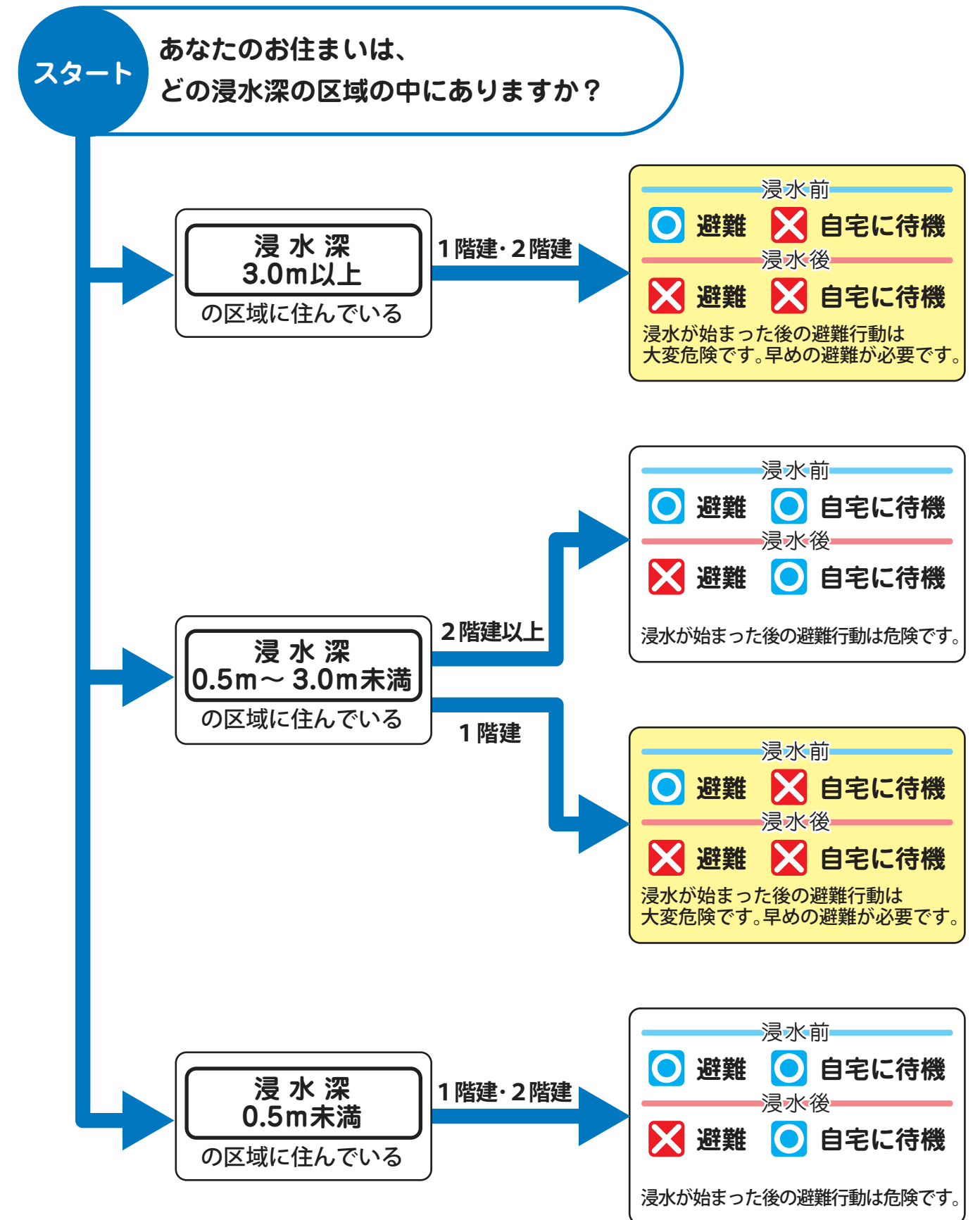
自宅待機への備え

自宅待機した場合に備え、P15～17「非常持出品・非常備蓄品等」を参考に、必要なものをそろえておきましょう。

風水害のとき

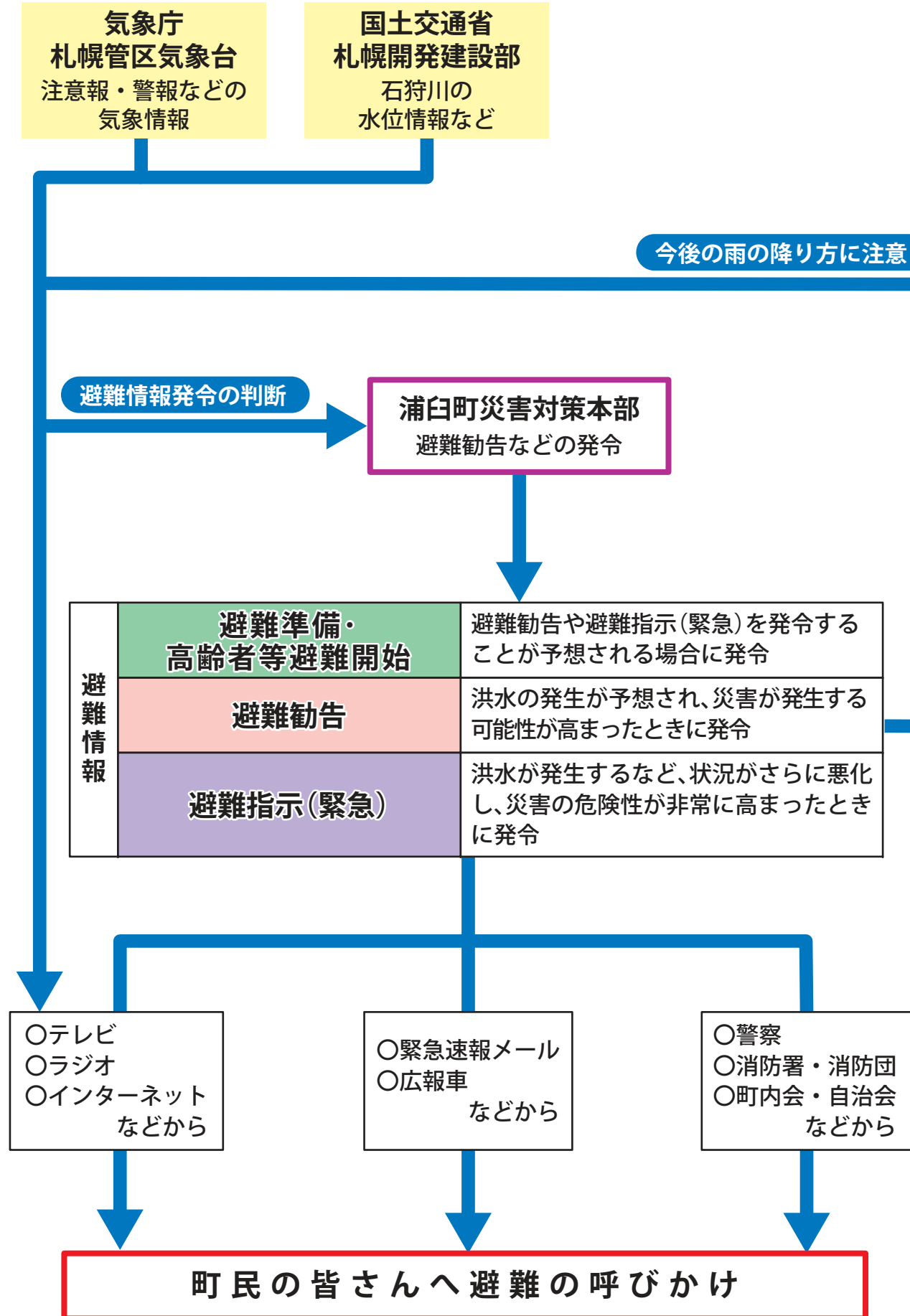
避難行動チェックリスト

洪水の正しい避難行動は、浸水が始まる前に避難することですが、万が一の事態に備え、下のフローチャートからいざというときの避難行動について確認しておきましょう。



風水害のとき

情報の伝達経路と避難の呼びかけ



風水害のとき

皆さんのとるべき行動

大雨などに関する注意報や台風に関する情報が発表されたら…

➡ 今後の雨の降り方に注意しましょう

- テレビ・ラジオ・インターネットで、今後の雨量、台風の進路と上陸する時間、暴風についての気象情報を確認しましょう。
- ハザードマップで浸水の危険や建物が流される危険について確認しましょう。さらに、避難場所も確認しましょう。
- 避難情報の種類を確認しましょう。

大雨などに関する警報が発表されたら…

➡ 水害に備えましょう

- さらに気象情報を確認しましょう。
- インターネットで水位情報を確認しましょう。
- 避難場所への避難を想定し、必要なものを用意しておきましょう。
- 家族との連絡方法について確認しましょう。
- 身の危険を感じたら自発的に避難をする心がまえを持ちましょう。



避難準備・高齢者等避難開始が発令されたら…

- 避難に時間を要する人(高齢者、障がい者、乳幼児など)とその支援者は避難を開始しましょう。
- その他の人は避難の準備を整えましょう。



避難勧告が発令されたら…

- 速やかに避難場所へ避難しましょう。
- 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。



避難指示(緊急)が発令されたら…

- まだ避難をしていない人は、緊急に避難場所へ避難しましょう。
- 避難場所に避難することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。

